

高齢者歯科学分野 大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)

(生命理工医療科学先端研究特論)

(医歯理工学先端研究特論)

演題：

義歯と嚥下で考える
高齢期の口腔機能管理
2つのストラテジー

講師：古屋純一 先生

(昭和大学歯学部 口腔健康管理学講座
主任教授)



日時：2025年2月17日(月) 17時30分～ 19時00分

場所：D棟4階 演習室

要旨：演者は高齢者歯科を専門として、外来診療に加えて、在宅、病院、施設での訪問診療を行っています。訪問診療では、義歯の問題だけでなく摂食嚥下障害を呈する方も多くいらっしゃいます。誤解を恐れずに言えば、摂食嚥下障害の最大の対応策は「摂食嚥下障害にならないこと」です。

義歯に代表される歯科医師にしかできない仕事は、フレイル予防や咀嚼嚥下連関を通じて、摂食嚥下リハビリテーションにもつながっています。そのため、元気なうちにより治療を受けて口腔機能を貯金することが重要です。一方、人は生物ですから、誰にでもいつか必ず衰える日がきます。その時に必要なのは訓練だけではなく、全身や口腔の機能低下と共生しながら、食べる楽しみを支えることです。

本講演では、この2つのストラテジーについて、義歯と嚥下に焦点を当てながら皆さんと一緒に高齢期の口腔機能管理について考えてみたいと思います。

担当：張君瑋 c.chang.gerd@tmd.ac.jp
高齢者歯科学分野 (内線5583)